

## 2 高等学校

大学等進学率 51.4% で全国第 14 位

表29 高等学校卒業者の進路別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業者 総数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 一時的な 仕事に 就いた者	G 左記以 外の者	H 死亡 不詳	I BCDのうち 就職してい る者(再掲)	J 大学等 進学率 B / A	K 就職率 (E+I)/A
平成14	11,632	5,748	2,368	1,158	2,023	...	335	-	34	49.4	17.7
15	11,231	5,426	2,457	992	1,976	...	379	1	18	48.3	17.8
16	10,797	5,252	2,311	833	2,078	80	243	-	14	48.6	19.4
17	10,509	5,311	2,258	827	1,877	70	166	-	3	50.5	17.9
<b>18</b>	<b>9,955</b>	<b>5,115</b>	<b>1,853</b>	<b>817</b>	<b>1,948</b>	<b>44</b>	<b>178</b>	-	<b>7</b>	<b>51.4</b>	<b>19.6</b>
男子	5,009	2,516	634	525	1,244	13	77	-	2	50.2	24.9
女子	4,946	2,599	1,219	292	704	31	101	-	5	52.5	14.3
公立	7,968	4,379	1,344	703	1,390	44	108	-	5	55.0	17.5
私立	1,987	736	509	114	558	-	70	-	2	37.0	28.2

注：「D 専修学校一般課程等入学者」には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。

16年度より項目に「一時的な仕事に就いた者」が追加された。パートやアルバイト等の臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者の数で、就職率には含まれていない。

### (1) 卒業者数

平成 18 年 3 月の高等学校卒業者数は 9,955 人で、前年より 554 人 (5.3%) 減少した。

男女別にみると、男子が 5,009 人で前年より 282 人 (5.3%) 減少、女子が 4,946 人で前年より 272 人 (5.2%) 減少した。

設置者別では、公立が 7,968 人、私立が 1,987 人となっている。

課程別では、全日制課程が 9,664 人、定時制課程が 291 人となっている。

進路別では、大学等への進学者が 5,115 人 (構成比 51.4%)、専修学校 (専門課程) への進学者が 1,853 人 (同 18.6%)、専修学校 (一般課程) 等入学者が 817 人 (同 8.2%)、就職者が 1,948 人 (同 19.6%)、一時的な仕事に就いた者 44 人 (同 0.4%)、左記以外の者が 178 人 (同 1.8%) となっている。

前年との比較では、卒業者総数 (554 人減) が減少し、大学等進学者 (196 人減)、専修学校 (専門課程) 進学者 (405 人減)、専修学校 (一般課程) 等入学者 (10 人減) も減少しているが、就職者 (71 人増) 及び左記以外の者 (12 人増) は増加している。

(表 29、統計表 112、113、114)

### (2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 5,115 人 (男子 2,516 人、女子 2,599 人) で、前年より 196 人 (3.7%) 減少した。その内訳は、大学学部 4,094 人 (男子 2,321 人、女子 1,773 人)、短期大学本科 934 人 (男子 172 人、女子 762 人)、大学短大の別科 4 人、高等学校専攻科 81 人、大学・短期大学の通信教育部 2 人となっている。

卒業学科別では、普通科が 4,049 人（構成比 79.2%）、農業科が 35 人（同 0.7%）、工業科が 230 人（同 4.5%）、商業科が 307 人（同 6.0%）、水産科が 10 人（同 0.2%）、家庭科が 57 人（同 1.1%）、看護科が 36 人（同 0.7%）、理数科等が 148 人（同 2.9%）、総合学科が 243 人（同 4.8%）となっている。（表 30、統計表 112）

表30 大学等進学者の進学先別内訳

（単位：人）

各年 3月	大学（学部）			短大（本科）			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	盲聾養護学校 高等部専攻科	大学・短大の 通信教育部
	総数	男子	女子	総数	男子	女子				
平成14	4,423	2,589	1,834	1,286	239	1,047	-	37	1	1
15	4,173	2,400	1,773	1,206	244	962	1	45	-	1
16	4,010	2,253	1,757	1,204	229	975	-	36	1	1
17	4,110	2,371	1,739	1,116	206	910	-	82	-	3
18	4,094	2,321	1,773	934	172	762	4	81	-	2

（3）大学等進学率

大学等進学率は 51.4% で、前年より 0.9 ポイント上昇し、全国第 14 位（前年第 12 位）となった。このうち、大学学部への進学率は 41.1% で前年より 2.0 ポイント上昇したが、短期大学本科への進学率は 9.4% で前年より 1.2 ポイント低下した。

大学等進学率を男女別にみると、男子が 50.2%（前年 49.0%）、女子が 52.5%（前年 52.1%）で、女子の進学率が男子を上回っているが、大学学部への進学率では、男子が 46.3%（前年 44.8%）、女子が 35.8%（前年 33.3%）と、男子が女子を上回っている。

女子の進学率の内訳をみると、短期大学本科への進学率（15.4%）が次第に低下し、大学学部への進学率（35.8%）が高まってきている。

卒業学科別の進学率は、普通科が 61.9%（前年 60.1%）、農業科が 15.7%（前年 17.2%）、工業科が 17.5%（前年 18.8%）、商業科が 37.4%（前年 42.3%）、水産科が 12.0%（前年 7.1%）、家庭科が 22.9%（前年 24.0%）、看護科が 94.7%（前年 90.0%）、理数科等が 74.4%（前年 68.0%）、総合学科が 50.1%（前年 45.5%）となっている。

（図 14、15、統計表 112）

図14 大学等進学率の推移

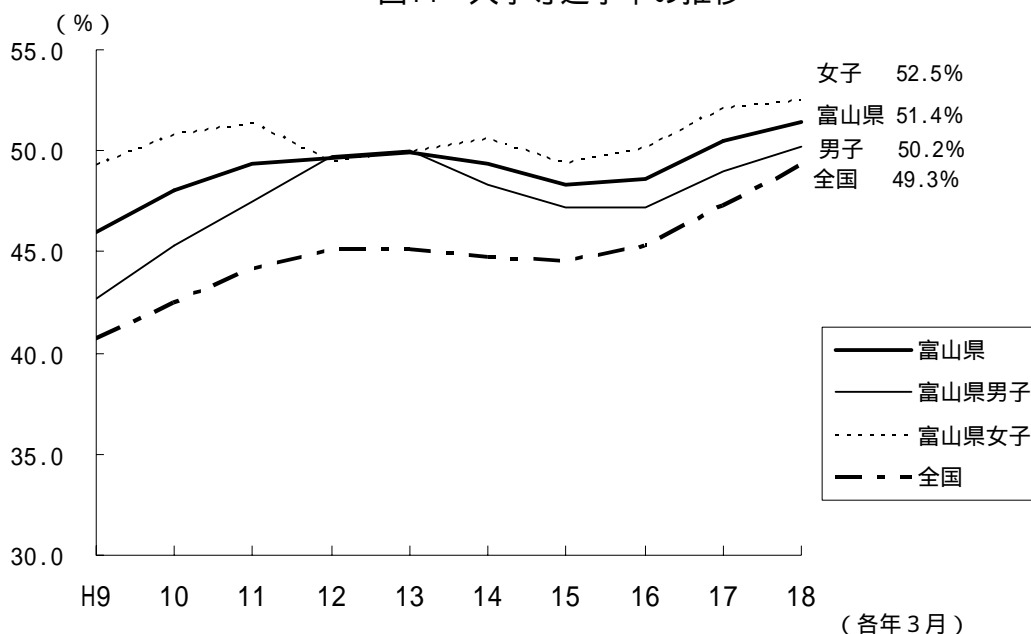
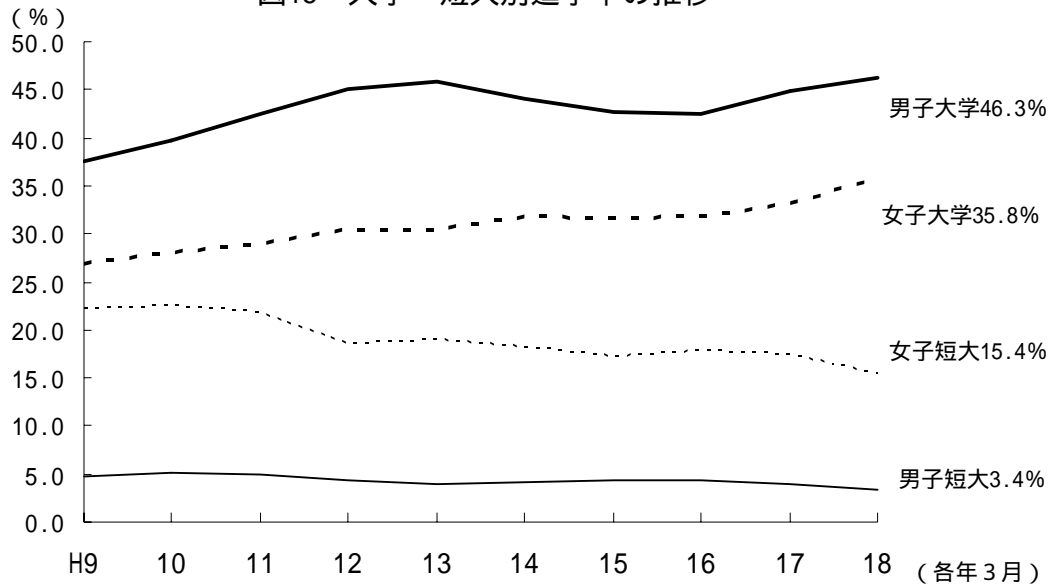


図15 大学・短大別進学率の推移



(4) 就職者総数

就職者総数は1,955人で、前年より75人(4.0%)増加した。その内訳は、就職者1,948人、大学等進学者のうち就職している者4人、専修学校(専門課程)に進学しながら就職している者3人となっている。

男女別にみると、男子が1,246人、女子が709人となっている。

産業分類別では、「製造業」が1,201人(構成比61.4%)で最も多く、次いで「卸売・小売業」が203人(同10.4%)、「サービス業」が104人(同5.3%)となっている。

職業分類別では、「生産工程・労務作業員」が1,228人(構成比62.8%)で最も多く、次いで「サービス職業従事者」が192人(同9.8%)、「販売従事者」が191人(同9.8%)となっている。

就職先を県内・県外別にみると、県内就職者が1,838人で、県外就職者の117人を大きく上回っている。

県外就職者の都道府県別では、石川県21人、大阪府21人、東京都19人、愛知県15人、新潟県10人などとなっている。(図16、17、統計表112、116、117、118、119)

図16 就職者の産業別割合

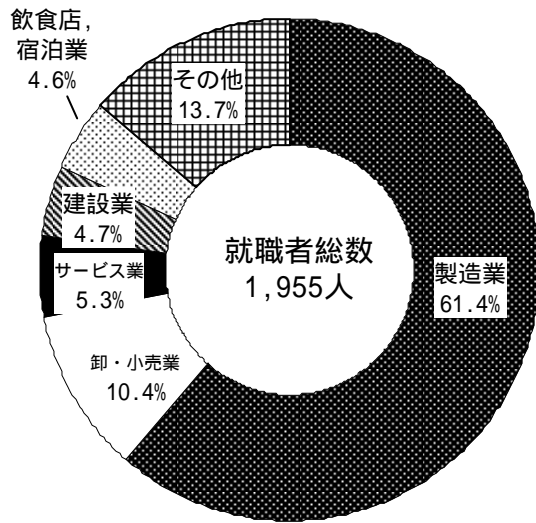
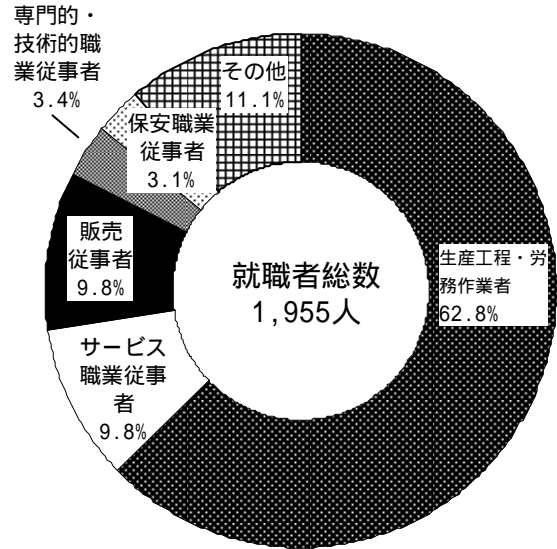


図17 就職者の職業別割合



(5) 就職率

就職率は19.6%で、前年より1.7ポイント上昇し、全国の18.0%を上回っている。

男女別にみると、男子が24.9%（前年22.8%）、女子が14.3%（前年13.0%）となっている。

県内就職率は94.0%で、前年より1.1ポイント上昇し、全国第2位となっている。

（図18、統計表112、118）

図18 就職率の推移

